5			4				Y
6			3				
7			2				
8	≧4	NR		0でない			
9				≧1			
10						無機物質でない場合には、FP、F又はS	
11					CMRTNI		
12	規則1から11まで及び13の基準に適合しない物質						Z
13	A1欄が≦2であり、A2欄がRであり、D3欄が空欄であり、有機物でない場合にE2欄がFp、F又はSでなく、及びGESAMPハザードプロファイルのすべての他の欄が0（ゼロ）であると特定されるすべての物質						OS

改正されたGESAMPハザード評価手順の説明の概要

レーティング	A欄及びB欄—水生環境				
	A			B	
	生物蓄積性及び生物分解性			水生毒性	
	A1(注) 生物蓄積性		A2(注) 生物分解性	B1(注) 急性毒性	B2(注) 慢性毒性
	log Pow	BCF		LC／EC／IC$_{50}$（mg／l）	NOEC（mg／l）
0	＜1又は＞約7	測定不能	R：易分解性 NR：易分解性でない inorg：無機物質	＞1000	＞1
1	≧1—＜2	≧1—＜10		＞100—≦1000	＞0.1—≦1
2	≧2—＜3	≧10—＜100		＞10—≦100	＞0.01—≦0.1
3	≧3—＜4	≧100—＜500		＞1—≦10	＞0.001—≦0.01
4	≧4—＜5	≧500—＜4000		＞0.1—≦1	≦0.001
5	≧5	≧4000		＞0.01—≦0.1	
6				≦0.01	

レーティング	C欄及びD欄—人間の健康（哺乳類に対する毒性作用）					
	C			D		
	哺乳類急性毒性			刺激性、腐食性及び長期的な健康への影響		
	C1 経口毒性 LD$_{50}$（mg／kg）	C2 経皮毒性 LD$_{50}$（mg／kg）	C3 吸入毒性 LC$_{50}$（mg／l）	D1 皮膚刺激性及び腐食性	D2 眼刺激性及び腐食性	D3(注) 長期的な健康への影響
0	＞2000	＞2000	＞20	刺激性でない	刺激性でない	
1	＞300—≦2000	＞1000—≦2000	＞10—≦20	中程度刺激性	中程度刺激性	
2	＞50—≦300	＞200—≦1000	＞2—≦10	刺激性	刺激性	
3	＞5—≦50	＞50—≦200	＞0.5—≦2	3：重度刺激性又は腐食性 3A：腐食性（≦4時間） 3B：腐食性（≦1時間） 3C：腐食性（≦3分）	重度刺激性	C：発がん性 M：変異原性 R：生殖毒性 S：感作性 A：吸入毒性 T：標的臓器全身毒性 L：肺障害 N：神経毒性 I：免疫毒性
4	≦5	≦50	≦0.5			

E欄—海洋のその他の利用への干渉			
E1 着臭	E2(注) 野生生物及び底生生物に対する物理的影響	E3 海岸の快適性への干渉	
		レーティング	説明及び措置
NT：着臭なし（試験後） T：着臭試験陽性	Fp：残留性浮遊性物質 F：浮遊性物質 S：沈降性物質	0	阻害なし。警告なし。
		1	わずかに不愉快 警告、ただし、施設の閉鎖はなし。
		2	中程度に不愉快 海浜閉鎖の可能性あり。
		3	極めて不愉快。海浜閉鎖

(注)　これらの欄は、汚染分類の決定に用いられる。

付録11　ばら積みの有害液体物質を運送する船舶のための貨物記録簿の様式

ばら積みの有害液体物質を運送する船舶のための貨物記録簿

船　　名……

船舶番号又は信号符字……

国際海事機関船舶識別番号……

総トン数……

期　　間……から……まで